

B2-01 京都工芸繊維大学美術工芸資料館収蔵品における染織品の位置 —収集状況から—

○西村太良, 佐々木良子 (京都工芸繊維大学美術工芸資料館染織関連資料調査会)
並木誠士 (京都工芸繊維大学)

1. はじめに

前報では当館の染織品の収集状況の推移を報告した¹⁾。ここでは、当館の染織品と他の収集品との収集状況の相違について検討する。分析には当館の資料管理のデータベースIB_Dbaseを利用した。当学の全身校の一つの京都高等工芸学校は当初色染科・機織科・図案科の三学科で、染織品は重要な位置を占めていたと考えられる。収集品全体は表1に示す24の分野、受入数は約5.6千件、約48千点に及ぶ。100件以上の多数を数える収集品は、版画・ポスターの1,000件余、染織の800余件など10の分野がある。ここでは主にそれらの分野の収集品の旧制学校時代と新制大学時代での受入件数の傾向、受入金額や主な受け入れ先などについて整理した結果を報告する。

表1 受入件数と受入金額

分野	収蔵品数		旧制時代				新制時代			
	件数	点数	受贈等 件数	購入 件数	購入金額 (千円)	平均金額 (千円)	受贈等 件数	購入 件数	購入金額 (千円)	平均金額 (千円)
版画・ポスター	1234	6846	7	46	¥226	¥5	969	207	¥42,288	¥204
絵画(含む大橋 Coll.)	595	782	8	13	¥5,218	¥401	572	1	¥51	¥51
東洋画模写	194	219	2	149	¥22,311	¥150	2	40	¥2,915	¥73
墨蹟	5	43	2	0	—	—	2	0	—	—
染織	831	2231	59	697	¥83,484	¥120	65	10	¥2,930	¥293
陶磁器	616	703	13	554	¥18,405	¥33	47	0	—	—
建築	980	32421	1	17	¥559	¥33	506	41	¥11,028	¥269
家具	129	151	12	63	¥5,113	¥81	44	10	¥5,986	¥599
装飾	13	24	1	11	¥884	¥80	1	0	—	—
彫刻	60	61	2	35	¥2,795	¥80	23	0	—	—
漆工	86	86	1	80	¥15,633	¥195	5	0	—	—
金工	88	153	2	83	¥4,259	¥51	3	0	—	—
楽器	15	15	0	10	¥277	¥28	5	0	—	—
武具	72	74	3	70	¥15,661	¥224	0	0	—	—
風俗	185	372	11	164	¥11,739	¥72	10	0	—	—
考古	25	25	2	23	¥535	¥23	0	0	—	—
生徒作品	19	1586	8	0	—	—	11	0	—	—
文献・資料	229	1010	5	61	¥2,255	¥37	118	38	¥6,452	¥169
原版	23	195	0	23	¥2,008	¥87	0	0	—	—
石膏	39	40	0	38	¥9,493	¥250	1	0	—	—
雑標本	200	611	2	166	¥12,390	¥75	23	3	¥435	¥145
写真・映像	4	233	0	0	—	—	4	0	—	—
素描・習作	17	362	0	0	—	—	8	0	—	—
プロダクトデザイン	10	201	0	0	—	—	10	0	—	—

Situation of the dyeing and weaving items in M&A, KIT's collection

—Compared to other collected items—

NISHIMURA Taro, SASAKI Yoshiko, and NAMIKI Seishi

Textile Research Investigation Committee, Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

Matsugasaki, Sakyo-ku, Kyoto 606-8585 Japan someori0@kit.ac.jp

2. 旧制学校と新制大学での受入件数の傾向

表1に受入件数を、旧制学校と新制大学のそれぞれに購入件数と受贈等(受入金額不明を含む)に分けて示す。染織は旧制時代の購入が多く、新制時代では10件と少なく、新制時代での受入は殆どが受贈である。同様の傾向を示す主な分野は、東洋画模写、家具や雑標本などで、さらに陶磁器や風俗は新制時代での購入はないことから、これらは旧制時代に積極的に収集されてきたことが分かる。

当館の代表的収集品の版画・ポスターについては、上述の染織などとは逆に新制時代の受入が多く千件を超えている。絵画、建築、及び文献・資料についても新制時代の受贈等での受入が顕著である。

また、受入全体を通じ、新制時代の受入は受贈に頼っていることが、これらの数字から明らかである。

3 購入金額

表1にはさらに、分野別の総購入金額と一件当たりの購入金額(2015年物価に換算¹⁾)を示している。旧制時代の総額では染織が8,000万円余りと多い。東洋画模写、陶磁器、雑標本と続く。単価では、絵画一件約40万円、東洋画模写、染織の一件12万円と続く。新制時代では版画・ポスターの総額が4,000万円余りと多く、染織は300万弱と、文献・資料や建築、家具にも及ばない。

4. 高額購入品

表2に高額購入品を、全資料から上位20件を示す。東洋画模写が10件と多く、版画・ポスターは3件、染織は一件のみであった。

表2 一件当たり的高額購入品

順	分野	受入金額 (千円)	AN 番号	受入年月日	順	分野	受入金額 (千円)	AN 番号	受入年月日
1	漆工	¥6,995	1625	1913/3/20	11	東洋画模写	¥3,471	293	1905/7/20
2	版画・ポスター	¥4,732	3432	1983/3/16	12	東洋画模写	¥3,454	560	1904/11/29
3	武具	¥4,723	1762	1916/2/5	13	東洋画模写	¥3,447	415	1904/8/20
4	石膏	¥3,775	2276	1929/9/13	14	家具	¥2,987	3797	1985/3/30
5	東洋画模写	¥3,625	8366	1937/8/5	15	装飾	¥2,987	3797	1985/3/30
6	東洋画模写	¥3,568	5960	1940/1/11	16	染織	¥2,931	260	1915/2/25
7	東洋画模写	¥3,564	567	1933/6/9	17	石膏	¥2,869	2275	1929/9/13
8	東洋画模写	¥3,546	444	1914/7/6	18	版画・ポスター	¥2,799	3275	1981/3/12
9	東洋画模写	¥3,489	392	1908/12/23	19	東洋画模写	¥2,708	589	1970/1/22
10	版画・ポスター	¥3,486	5550	2013/10/31	20	東洋画模写	¥2,691	531	1967/12/18

5. 主な受け入れ先

表3に受入機件数の多い受入先を件数順に示す。Tennoji-collectionは版画・ポスターの受入、大橋律子は絵画の大橋coll.が多い。高田商会は陶磁器、金工が多い。伊達弥寿男は染織が殆んどである。

表3 受入機件数の多い受入先

順	受入先	件数	順	受入先	件数	順	受入先	件数
1	Tennoji-collection	678	11	三好一	87	21	東方書店	40
2	大橋 律子	550	12	島津 源蔵	77	22	平岡 利兵衛	39
3	高田 商会	453	13	平井 宇一郎	77	23	文華堂	31
4	伊達 弥寿男	262	14	大阪市立美術館	74	24	光明 義一郎	30
5	宮永 剛太郎	166	15	三好寿美	56	25	武蔵 篤太郎	29
6	井手 善兵衛	135	16	河原 徳三	53	26	大阪府工業奨励館	28
7	三井物産	133	17	守住 勇魚	45	27	中村 彦七	27
8	Kai-Collection	117	18	竹内次男	45	28	三菱商事	24
9	稲畑 勝太郎	103	19	谷口 浩三郎	44	29	鶴来 義松	23
10	福島 行信	91	20	平井 團蔵	42	30	今井 太郎右衛門	21

参考文献

- 1) 西村太良, 佐々木良子, 並木誠士, 日本繊維機械学会第70回年次大会(大阪) 研究発表論文集 講演要旨集 pp.84-85
西村太良, 佐々木良子, 並木誠士, 繊維機械学会誌, 71, pp.163-169